

第37回 2012 JPS展開催

写真展事業担当 常務理事 島田 聰

昨年第36回のJPS展は、その審査結果を応募者の皆さんに通知するという作業が正に佳境を迎えるようという頃、未曾有の大震災に遭遇することになりました。そして、その東日本大震災の影響や不安がまだまだ大きく残る中、展覧会は開催されました。本年第37回のJPS展は、その甚大な災害から一年以上経っての開催となります。被災地の復興は、一年を超える月日が経ってもまだまだ道半ばであるようですし、原発事故による放射能問題もまだまだ先行きの不透明さを抱えているように思えます。このような不安や厳しい状況があるにも関わらず、今回のJPS展は、過去最高の応募枚数を記録しました。

何よりの思い出の品としてアルバムや写真を探す人々や、それらを大事に収集し、洗浄や修復をする人々の姿は、写真に携わる者には特に、感慨深い思いを抱かせることになったと思います。震災という苛烈な出来事の中でとはいえ、アルバムや記念写真に対する人々の思いが、記録性を何よりの特長とする写真というもののへの関心や評価につながったのだとすれば、写真の公募展を主催するものとして、その点については肅々と喜んでも良いことなのだろうと感じています。

その2012JPS展の応募作品の内容は、震災や被災地の様子を記録した作品はもちろん、ネイチャー、風景、

人物、スナップ、旅行、心象風景、スポーツなど、様々なジャンルにわたり、非常に多彩で見応えがありました。特に入賞作品は、いずれ劣らぬ個性に溢れた表現力豊かな作品が多く、審査も非常に熱の入ったものとなりました。

また、一昨年から設けた20歳以下部門にも多くの作品が寄せられました。5歳のお子さんはじめ、青春真っ盛りの若い方々の新鮮な感性や常識に囚われない発想は、展覧会にみずみずしさを添えてくれることでしょう。

最後になりましたが、2012JPS展開催にあたり、東京都写真美術館をはじめ、様々な形でご支援ご協力をいただいた関係各位に感謝申し上げるとともに、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

応募者総数	2,387名	7,507枚
入賞・入選者数	307名	499枚
会員出品者数	60名	300枚
ヤングアイ参加数	17校	17枚



公募作品審査風景

撮影:小城崇史

審査員 左より、勝又ひろし(『アサヒカメラ』編集長)、熊切圭介、
田沼武能(審査員長)、米美知子、大山謙一郎

撮影会/6月2日(土)10:30~16:00 恵比寿ガーデンプレイス内、

東京都写真美術館1Fアトリエ

「身近な人を撮る 話題のミラーレス一眼の実力を体験」

講師:熊切圭介、管 洋志、藤井智弘(写真家、JPS会員)
協力:パナソニック(株)

同時開催セミナー/5月27日(土)13:00~16:00

東京都写真美術館1Fアトリエ

「みんなで作ろうフォトブック」

講師:写真家、JPS会員(企画委員会委員)

協力:株式会社アスカネット

フロアレクチャー/会期中随時

共 催:東京都写真美術館

後 援:文化庁、東京都

東京展

東京都写真美術館(恵比寿)／5月19日(土)～6月3日(日)

10:00～18:00(木・金20:00まで)

月曜休館(5/21、5/28)

表彰式/5月19日(土)13:00～14:30 東京都写真美術館

講演会/5月19日(土)15:00～16:30 東京都写真美術館1Fホール
「生涯現役－女性報道写真家第一号・篠本恒子97歳」

講師:篠本恒子(写真家、JPS名誉会員)

板見浩史(フォトエディター)

受賞パーティー/5月19日(土)17:00～19:00 エスパシオ

ワークショップ/5月20日(日)11:00～16:00

東京都写真美術館1Fアトリエ

「ワンランク上のインクジェットプリントを作る・新用紙・
フレスコジクレーの実力」

講師:鹿野 宏(株式会社Lab代表取締役・写真家)

協力:エプソン販売㈱(株)トクヤマ

レクチャー/5月25日(金)18:00～20:00

東京都写真美術館1Fアトリエ

「気軽になんでも写真相談室・カメラ女子も大歓迎！」

講師:浅岡 恵、石井真弓、山口規子(JPS会員)

文部科学 大臣賞

賞状・盾
賞金50万円

川口 新実

(千葉県在住)

「竜宮への入口」

カラー単写真



20歳以下部門

最優秀賞

榎本 会希 (大阪府在住)

賞状・盾・副賞

「無題」 カラー3枚組



名古屋展

愛知県美術館／7月3日(火)～7月8日(日)

10:00～18:00

(金曜日20:00閉館、最終日17:00閉館)

表彰式・講演会／7月7日(土) 13:00～15:30

愛知芸術文化センター12階A室

「光と影 ～パリの宝石箱より」

講師：榎並悦子(写真家、JPS会員)

後援／文化庁、愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、
名古屋市教育委員会

関西展

京都市美術館別館／7月31日(火)～8月5日(日)

9:00～17:00(入場は16:30まで)

表彰式・講評・講演会／8月3日(金) 13:00～16:30

京都市国際交流会館イベントホール

「レンズが教えてくれたこと」

講師：大石芳野(写真家、JPS会員)

同時開催イベント：「関西小学生のワクワク・ドキドキ写真展」

後援／文化庁、京都府、京都府教育委員会、京都市、
京都市教育委員会

金賞

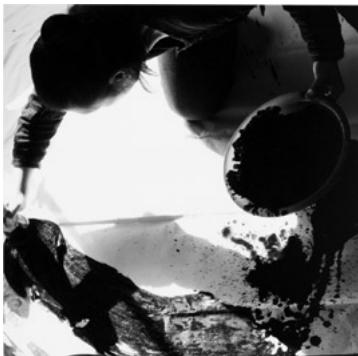
賞状・盾
賞金30万円及び副賞

和田 誠

(京都府在住)

「鼓動」

カラー5枚組



銀賞

千田 俊輔 (埼玉県在住)

賞状・盾
賞金15万円及び副賞

「例えば」 カラー単写真



銀賞

賞状・盾
賞金15万円及び副賞

寺田 功子

(滋賀県在住)

「元気村」

カラー4枚組



銅賞

賞状・盾
賞金5万円及び副賞

河田 和子

(滋賀県在住)

「夢の扉」

カラー単写真



銅賞

賞状・盾
賞金5万円及び副賞

常川 真 (岐阜県在住)

「昆虫の日常と人間の日常」

カラー4枚組



銅賞

賞状・盾
賞金5万円及び副賞

後藤 忠彦

(埼玉県在住)

「ダンディ」

カラー単写真



【ヤングアイ部門】

日本写真家協会 会長賞

賞状・メダル・副賞

九州産業大学
芸術学部
写真映像学科

タイトル

「Something New」

知念 愛佑美、
原 千映美



ヤングアイ 奨励賞

賞状・メダル・副賞

学校法人 写真学園 東京綜合写真専門学校

タイトル「Japonism」

内田 いずみ、錦 有人

